

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	臨時福祉給付金事業			
予算科目	3 款 1 項 18 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	526
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	米湊 明弘
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象				
根拠法令等				
事業の目的	消費税率の引上げに際し、所得の低い方々への負担の影響緩和の暫定的・臨時的な措置として実施する事業			
事業の内容	平成26年度分の市民税が課税されていない(非課税)方1人に10,000円及び加算対象となる年金受給者に5,000円を上乗せし支給する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	前年度事業なし			
改善策の 具体的 取り組み	前年度事業なし			

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	171,167	111,000	122,885
	人件費	0	7,794	3,897	7,794
	合計	0	178,961	114,897	130,679
人件費 内訳	人工数	0.00	0.98	0.49	0.98
	人件費単価	0	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	7,794	3,897	7,794
財源内訳	国庫支出金	0	171,167	119,813	123,848
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	7,794	-4,916	6,831

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
臨時福祉給付金申請者数	人		9900	8500	8726

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	71,822	0	0	0	0	71,822

成果指標				
成果指標	対象となる者の申請者数			
指標設定の考え方	申請書の送付、周知方法及び干渉通知などで対象となる方へ期限内に申請を行うことを指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	0	9273	10000	0
実 績	0	8726	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	申請期間を延長するなど、該当者に対して更なる申請勧奨を実施する。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	消費税増税に伴う低所得者対策であるが、単年度給付金事業ということでシステムで対象者を正確に把握するまでの技術開発が伴っていなかった。その問題を担当者の熱意と努力で解決し、福祉課全員で申請窓口を担当し、適切に給付を行うことができた。申請率が94%と高い結果となった。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	次年度も事業が実施されることとなったため、本年度の実績を踏まえ、よりスムーズな事務処理が行なえるよう努める。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。